

## 令和7年度文部科学省行政事業レビュー行動計画

### 1. 基本的な考え方

行政事業レビュー（以下「レビュー」という。）では、エビデンス（根拠）に基づく政策立案（以下「EBPM」という。）の推進が、政策判断の精度を向上させ、自らの政策立案(policy making)に資することを踏まえ、原則全ての事業について、EBPMの手法等を用いて、事業の進捗や効果について成果目標に照らした点検を行い、事業の改善、見直しにつなげるとともに、外部の視点も活用しながら、事業の内容や効果の点検を行う。

その結果を予算の概算要求や執行等に反映させることや、行政事業レビューシート（以下「レビューシート」という。）を予算編成過程で積極的に活用することで、事業の効果的、効率的な実施を通じ、無駄のない、質の高い行政の実現を目指す。さらに、国の行政の透明性を高め（「見える化」を進め）、国民への説明責任を果たすことに努める。

また、基金について、適正かつ効果的、効率的に国費を活用する観点から、毎年度、執行状況等を継続的に把握し、基金事業の進捗や効果等について厳格に検証を行い、レビューの枠組みの下、基金の適切な管理に向けた取組等を実施する。

### 2. 行政事業レビューの取組体制

レビューは、行政事業レビュー推進チーム（行政事業レビュー推進チームの設置について（平成25年4月26日大臣官房長決定）に定める文部科学省行政事業レビュー推進チームをいう。以下「チーム」という。）が、レビュー等の的確な取組を図るべく、EBPM推進委員会との連携の下、実施主体となって取り組む。チームの体制は以下とする。

また、政策評価及びEBPMアクションプランの一体的・効果的な推進や事務負担の軽減を図るため、チームと政策評価担当部局及びEBPMアクションプラン担当部局と連携し、実施する。

#### 【チームの体制】

統括責任者：大臣官房長

統括責任者(代理)：サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官

副統括責任者：大臣官房会計課長、大臣官房政策課長

メンバー：大臣官房人事課長、大臣官房総務課長、大臣官房国際課長、大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課長、総合教育政策局政策課長、初等中等教育局初等中等教育企画課長、高等教育局高等教育企画課長、科学技術・学術政策局政策課長、研究振興局振興企画課長、研究開発局開発企画課長、スポーツ庁政策課長、文化庁政策課長、国立教育政策研究所研究企画開発部長、科学技術・学術政策研究所総務研究官

### 3. 事業所管部局による取組

#### (1) 事業の実態把握の内容及び方法

レビューの対象となる事業を所管する部局（外局を含む。以下「事業所管部局」という。）は、原則全ての事業について、EBPMの手法等を用いて、事業の進捗や効果を把握するとともに、国からの支出先（事務経費は除く。）及び支出額を把握した上で、国からの支出先について、可能な限り当該経費の用途及び金額を把握する。

なお、用途の中に、第三者への業務の委託や補助等が含まれている場合には、可能な限り当該委託等における用途及び金額を把握するものとし、補助事業等実績報告書など支出先から支出の内容が記された書面により調査確認するとともに、必要に応じ、実地で調査確認を行う。

また、用途の中に更なる委託等がある場合も同様とし、最終支出先の把握に努めるものとする。

#### (2) 事業所管部局による点検

##### ① 行政事業レビューシート、セグメントシートの作成

事業所管部局は、活動・成果実績、予算の支出先、用途等を踏まえ、事業の厳格な点検を行い、その結果を内閣官房行政改革推進本部事務局（以下「行革事務局」という。）が整備するレビューシートシステム（以下「RSシステム」という。）を用いてレビューシート及びセグメントシート（以下「レビューシート等」という。）に分かりやすく入力する。レビューシート等の作成に当たっては、事業所管部局の幹部・管理職がシートの作成・活用や点検に実質的に関与するものとする。

##### ② 「基金シート」、「地方公共団体等保有基金執行状況表」及び「出資状況表」等の作成、公表

基金及び基金事業等を所管する事業所管部局は、RSシステムを用いて、「基金シート」、「地方公共団体等保有基金執行状況表」及び「出資状況表」等（以下「基金シート等」という。）の作成、公表により、透明性を確保する。特に、

独立行政法人、公益法人等に造成された基金については、基金事業の進捗や効果等の検証を踏まえ、執行の改善や国庫返納につなげる余剰資金の有無等にかかる厳格な点検を行うこととする。

### (3) 点検結果の概算要求等への反映及び事業の改善

事業所管部局は、チームによる点検結果を踏まえ、その所見を令和8年度予算概算要求及び令和7年度予算の執行に的確に反映するほか、その他所要の改善を図る。

## 4. チームによる取組及び担当者

### (1) レビューシート等及び基金シート等の作成・点検等

レビューの実施に当たっては、レビューシート等及び基金シート等を作成するとともに、RSシステムにおいて公表を行う。

レビューシート等及び基金シート等の作成に当たっては、チームの下に複数の「行政事業レビュー推進ワーキングチーム」（以下「ワーキング」という。）を置き、ワーキングは、事業所管部局に対し、レビューシート等の適切な作成及びアウトカムの設定等、EBPM的観点に基づく入力内容の指導かつ助言を含むレビューシート等の品質管理並びに厳格な自己点検の指導を行う。また、基金の適切な管理を確保するための取組に関する指導及びそれを通じた基金シート等の品質管理を行う。

### (2) レビューシート等及び基金シート等の外部有識者による点検

チームは、外部性が確保され、客観的かつ具体的で厳正な検証となるよう、複数の外部有識者からなる行政事業レビュー外部有識者会合（以下「外部有識者会合」という。）を設置し、レビューシート等については全てのレビュー対象事業が少なくとも5年に一度を目途に、基金シートについては全ての基金事業を対象に、それぞれ外部有識者の点検を受けることになるよう、以下の点に留意しつつ事業内容の点検を求める。

- ① 点検を十分に行うことが可能な数の外部有識者を確保する。
- ② 外部有識者による点検が、外部検証として十分に機能するよう、外部有識者に期待される役割の周知徹底を図る。
- ③ 客観性を向上させ、より効果的な点検が可能となるよう、外部有識者会合において外部有識者による点検の対象事業の選定の考え方について理解を得た上で、対象事業を選定する。
- ④ 点検は、外部有識者による事業所管部局へのTV会議等も活用したヒアリング又は書面審査を基本として実施する。

- ⑤ 外部有識者による所見欄の入力に当たっては、事業の改善すべき点の指摘や、検討すべき課題についての提案等が積極的に行われるよう、外部有識者会合を活用して周知を行う。
- ⑥ 指摘を行った外部有識者と関係事業所管部局との調整を行うとともに、関係事業所管部局に対し、外部有識者の所見を的確に令和8年度予算概算要求等に反映するほか、その他所要の改善を図り、その結果をレビューシート等及び基金シート等の所定の欄に入力するよう指導する。

### (3) 公開プロセスの実施

チームは、一部の事業について、公開性を確保するため、インターネットを活用した公開の場で外部有識者の参画を得て、以下の点に留意しつつ外部有識者による公開の場での点検（以下「公開プロセス」という。）を実施する。

- ① 公開プロセス対象事業については、客観性を向上させ、公開検証が望ましいと判断されるものが国民の視点で選定されるよう、外部有識者（行革事務局が選定した公開プロセスに参加する外部有識者を含む。②及び④において同じ。）から意見聴取等を行うほか、行革事務局が公開プロセスの候補事業に追加すべきと判断したものから選定を行う。
- ② 外部有識者に対し、公開プロセス対象事業に係る事前勉強会や現地ヒアリングの機会を随時提供する。
- ③ 円滑かつ効率的な実施が行われるよう、行革事務局が示す運営要領を事前に公開プロセス参加者に周知徹底する。
- ④ 外部有識者のコメント及びとりまとめコメントには、事業の課題や問題点、評価結果の理由・根拠及び改善の手法や事業見直しの方向性が具体的に明記されるよう外部有識者に周知徹底する。

### (4) 外部有識者による講評

チームは、公開プロセスを含む外部有識者による点検終了後、レビューの取組全般について、外部有識者が大臣、副大臣又は大臣政務官に対して、講評を行う機会を設けるものとする。

### (5) チームによる点検（サマーレビュー）及び点検結果（所見）のとりまとめ

チームは、外部有識者による点検結果を踏まえつつ、EBPMの手法等を活用して、事業所管部局の指導を行い、事業の必要性、効率性、有効性の観点から、事業全体について点検・改善につなげるため、ワーキングにレビューシート等及び基金シート等の厳格な点検を実施させるものとする。また、ワーキングの所見をとりまとめ、点検

結果を公表する。

(6) チームの所見を踏まえた事業の改善状況の点検

ワーキングは、事業所管部局がチームの所見を踏まえてどのように事業の改善を行ったのか点検を実施する。その際、国民への説明責任を果たす観点から、その改善状況がレビューシート等及び基金シート等の所定の欄に分かりやすく入力されるよう事業所管部局を指導する。

チームは、事業所管部局の事業の改善状況を取りまとめる。

(7) 概算要求等への反映

チームは、チームの所見が翌年度の予算概算要求や予算執行への確に反映されるようにする。また、反映状況や反映額等を取りまとめ、RSシステムにおいて公表を行う。

(8) レビューシート等の活用

作成したレビューシート等について、予算編成過程での積極的な活用に努める。

(9) 行政改革推進会議による検証結果の反映

秋の年次公開検証（秋のレビュー）における指摘事項（その他の行政改革推進会議の検証結果を含む。）について、以後の予算等に適切に反映するよう指導する。

(10) 優良事業改善事例等を参考とした積極的な事業改善

チームは、優良事業改善事例を選定し、総括責任者等から表彰するとともに、これを参考として、積極的な事業改善を促す。なお、優良事業改善事例については、レビューシート等とともに評価内容等を公表する。

(11) 各取組における担当者

上記(1)から(10)における各取組は、大臣官房会計課が事業所管部局の協力を得て実施する。

**5. レビューの実効性向上のための取組**

(1) 職員からの意見・提言募集

職員からの意見・提言専用の電話、メールアドレスを設置する。

(2) 人事評価への反映

人事評価の実施に当たって、評価者等は、優良事業改善事例をはじめ、レビューの取組を通じ、職員が厳格な事業の点検や積極的な事業の見直しを行った場合、適切に人事評価に反映するよう努める。

### (3) 研修の充実

階層別や職務経験別に会計研修を実施する。

会計研修には、民間企業で業務効率化やコスト削減に取り組む実務家等による講義を組み込むよう努める。

また、レビューにおける自己点検をより一層実効性のあるものとするため、レビューに係る研修等を実施する。

## 6. 令和7年度の取組の主なスケジュール

5月中旬	外部有識者会合の開催 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 外部有識者点検対象事業の選定の考え方</li><li>・ 公開プロセス対象事業候補の選定 など</li></ul>
6月下旬	公開プロセスの実施
7月～8月	レビューシート等及び基金シート等の外部有識者による点検
9月上旬	レビューシート等の公表 概算要求への反映状況の公表
9月中旬	基金シート等の公表
9月末	優良事業改善事例の公表